骨髄像	219000
	担当部署
ﾏﾙｸ	血液

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		特記事項なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→血液学→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		特記事項なし
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	特記事項なし
検体採取の特別なﾀｲﾐﾝｸﾞ	特記事項なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	骨髄	ＢＭ院内用	EDTA-2K	1	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	1)凍結保存した検体 2）サンプリングできない検体
保管検体の保存期間	室温・当日中（追加検査については、検査室に要問合せ）

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟３階　中央検査部
測定時間	1～2 日

<table>
<tr><td colspan="2">生物学的基準範囲</td><td colspan="5">有核細胞数 10-25 万/μL
巨核球数 50-150/μL

別紙参照
EX 共通 CL1084：「三輪血液病学 2006」552</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床判断値</td><td colspan="5">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">基準値</td><td colspan="2">単位</td><td>%</td></tr>
<tr><td colspan="2">共通低値</td><td>共通高値</td><td>男性低値</td><td>男性高値</td><td>女性低値</td><td>女性高値</td></tr>
<tr><td colspan="2">設定なし</td><td>設定なし</td><td>設定なし</td><td>設定なし</td><td>設定なし</td><td>設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">パニック値</td><td>高値</td><td colspan="4">設定なし</td></tr>
<tr><td>低値</td><td colspan="4">設定なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">生理的変動要因</td><td colspan="5">特記事項なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床的意義</td><td colspan="5">骨髄検査は造血器悪性腫瘍などの診断や病型分類に必須の検査である.さらに，貧血，白血球減少，血小板減少の存在するときや原因不明の発熱，末梢血に異常細胞がみられる際にも速やかに実施する必要がある.血小板減少の場合でも，圧迫止血が可能なため骨髄検査の禁忌にはならない.骨髄検査は大きく分けると，白血病，骨髄異形成症候群など造血器疾患や癌の骨髄浸潤などが疑われるなどの絶対的適応と，巨赤芽球性貧血，高蛋白血症や不明熱など鑑別診断に必要とされる場合に施行される.骨髄検査は造血器疾患の診断や病型分類だけでなく，治療効果や経過観察に必要な検査である.
EX 共通 CL1141：「臨床検査法提要 改訂第 35 版」273</td></tr>
</table>